

小郡三井医師会休日診療所担当理事殿

令和2年3月30日

かわち内科循環器科医院

河内祥温 拝

前略。現在福岡県でも新型コロナウイルスの感染者が増加しており、マスクも消毒用エタノールも払底するなか、それぞれの医院でも感染対策に苦慮していることと思います。

感染経路不明の感染者が急増するなか、4月12日（日）に医師会休日診療所への出務当番が小生に回ってきますが、場合によっては小生自身も感染する可能性を否定できない事に強い恐怖を感じていますので、

「休日診療所における感染対策」について教えていただきたいと存じます。

下記の点につきご回答いただければ幸いです。

- ① 入口に厚生労働省の指針を掲示しているのかどうか。
- ② 風邪様症状の患者の受診を無条件に受け入れるのかどうか。
- ③ 入口に患者用の手指消毒液を設置しているのかどうか。
- ④ マスクなしの患者に提供するマスクを用意しているのかどうか。
- ⑤ 医師、医療スタッフ用の使い捨てマスクと、手洗い用の消毒液を用意してあるのかどうか。
- ⑥ 診察に於いて患者と一定距離を保つての診療、即ち問診のみでよいのかどうか。
- ⑦ 当日診療した患者から後日、新型コロナウイルス感染陽性者が出た場合、診療に携わったものは「濃厚接触者」とみなされるのか。
- ⑧ 上記にて当該医師が濃厚接触者と判定された場合、同医師に対する何等かの補償等について医師会としての対応は決めているのか。それとも自己責任とするのか。
- ⑨ 受診者に新型コロナウイルス感染の疑いのある場合、当該医師が保健所の相談センターへ紹介の労をとらねばならないのかどうか。

⑥～⑨については現在小生の診療所では触診、聴診は通常通り行っており、万が一当院受診者から感染者が出た場合は、小生が濃厚接触者として検査対象となり、待機、休診を余儀なくされる事もありうると覚悟していますが、本来の業務でない休日診療所への出務でそのような不利益を被るのもどうかと思われますので、医師会としての見解をお聞きしたい所存です。

以上心構えの支度もありますので、宜しくご回答のほどお願い申し上げます。

早々

かわち内科循環器科医院
河内 祥温 先生御机下

2020 年 4 月 1 日
休日診療センター担当理事
たなか耳鼻咽喉科医院
田中 久志

御多用中のところ休日診療センターへの御協力を賜り、誠にありがとうございます。さて、先生の質問①～⑨に対する回答ですが、以下に記載しております。今回は休日診療センター運営委員会を開催する時間が無く、理事会の承認は間に合いませんでした。しかし、島田医師会長が校閲していますので、概ね小郡三井医師会の総意と解釈して戴いてよろしいと思います。

- ① 入口に新型コロナウイルスに関する厚労省の指針は掲載しています。
- ② 風邪症状の患者を無制限に診療する必要はないと思います。
他の施設を受診した方が良いと考えられ場合は、先生の裁量で診察を断わってよいと考えます。
- ③ 入口に患者用の手指消毒液は設置しています。
- ④ 患者に配布するマスクの備蓄があります。
- ⑤ 医師、スタッフ用のマスク、消毒液の備蓄があります。
- ⑥ 問診のみの診察は可と考えます。
- ⑦ 暴露リスクが低い診療（充分対策をとった診療）であれば就業制限はかからない事になっています。（医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド：第2版改訂版 ver.2.1 を参照下さい。）
- ⑧ 医師会からの補償等は現時点では考えていません。
- ⑨ 保健所への紹介をするか否かは、先生の裁量で決めて戴いてよろしいかと考えます。

備考：10年以上前に SARS が流行した際の防護ガウンがあります。

ご不明な点がありましたら、医師会事務局まで御一報下さい。
休日診療センターの設備は万全ではありません。センター出務が困難な場合は、在宅当番も検討したいと思います。